

○専門試験問題例

問1 次の事例を読んで設問に答えなさい。

《事例》

主訴：ことばの遅れ 4歳 Aくん

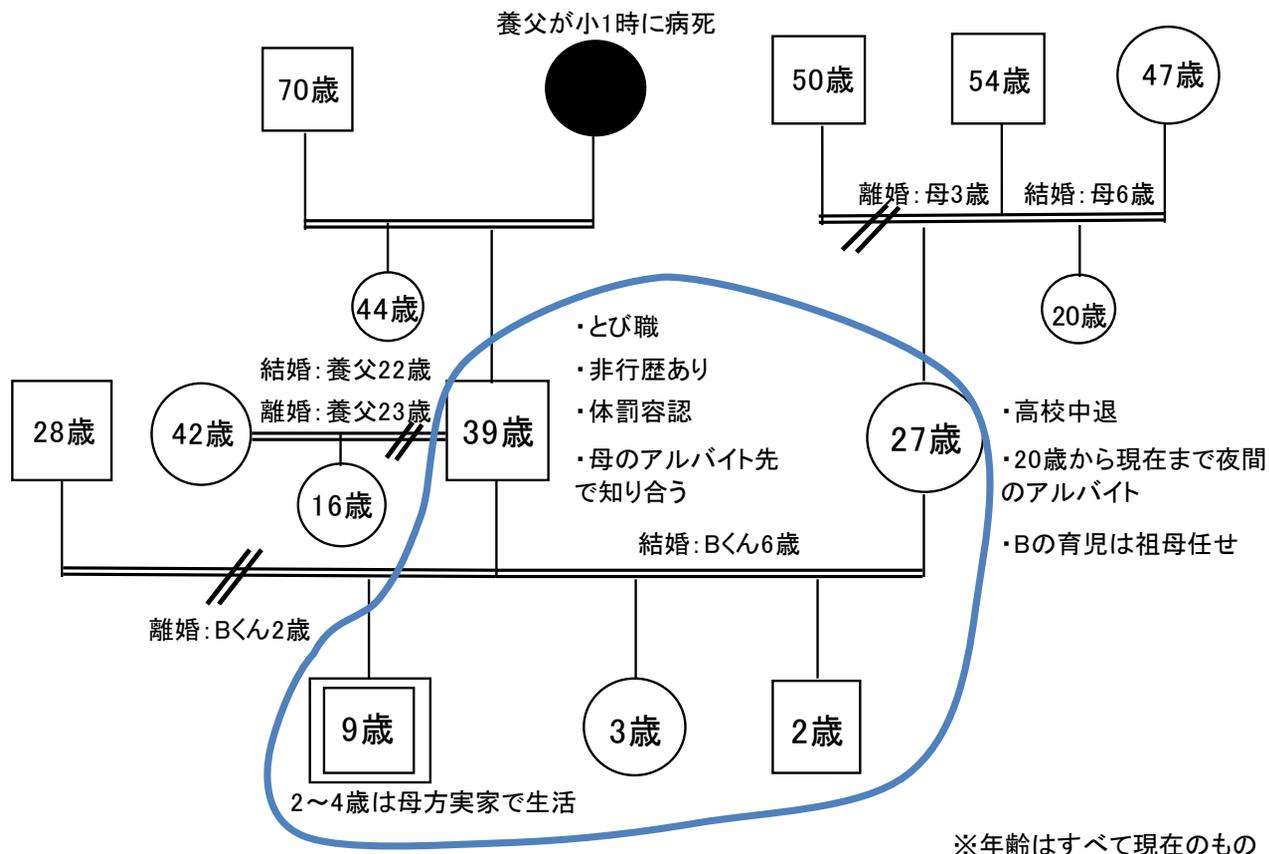
Aくんは母親と発達相談のため、こども相談センターに来所。児童心理司の挨拶に応じず、無言で遊び続ける。面接室に入るのを渋り母に強引に連れられて入室。視線は合わない。面接室では着席せずに立ち歩き、窓の外を見たりウロウロしたりする。勝手に心理検査道具を物色し、気に入ったおもちゃを次々出し、一人で遊ぶが注意は続かない。時折「うー」と唸るような声を出す。児童心理司の指示には応じない。一人で面接室を出ていこうとする。追いかけると笑って逃げるを繰り返す。落ち着きがなくエネルギーが高い。

(設問) Aくんの行動の背景要因としてどのようなことが考えられるか、その理由も含め4つ以上の可能性を考えて述べなさい。

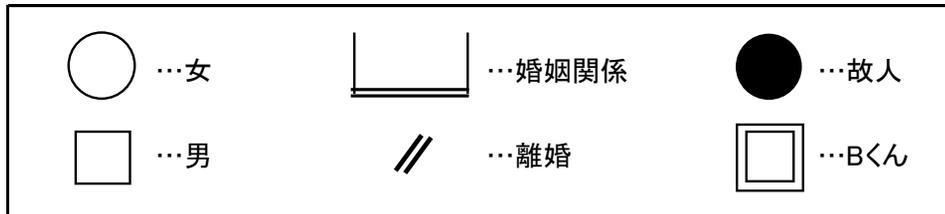
問2 次の事例を読んで設問に答えなさい。

《事例》

学校からの勧めで、母がこども相談センターに相談を申し込んだ。小学3年生の男児(Bくん)は、学校で友だちにすぐ手が出る、思い通りにならないことがあるとパニックになり物を投げる。学力は低い、特別支援の利用はしていない。小学2年生の時に金銭の持ち出しがあったがどこにも相談はしていない。



記号の説明



(1) ジェノグラムから家族状況を想像し、Bくんの行動や心情について、また養父、母の状況や心情について、それぞれ考えられることを述べなさい。

(2) こども相談センターの児童心理司として保護者や学校にどんな助言をするか、また保護者、Bくんそれぞれにどんな関わりが必要か述べなさい。